

第10期(平成27年3月期)
決算説明資料

平成27年6月9日



阪神高速道路株式会社

当期連結決算の概要

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **2,208億円**（前年同期比▲1,085億円）、営業利益 **19億円**（前年同期は営業損失14億円）、経常利益 **25億円**（前年同期は経常損失9億円）、当期純利益 **25億円**（前年同期は当期純損失19億円）となりました。

事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

高速道路事業

- ◆ 阪神高速道路の一日当たり平均通行台数が約73万台（前年同期比0.9%減）と減少したことにより、料金収入は1,706億円（前年同期比1.5%減）
- ◆ 道路資産完成高は280億円（前年同期比80.4%減）
- ◆ 道路資産賃借料は1,318億円（前年同期比0.2%増）
- ◆ この結果、営業収益は1,992億円（前年同期比37.1%減）
営業費用は1,979億円（前年同期比37.8%減）
営業利益は12億円（前年同期は営業損失18億円）となりました。

受託事業

- ◆ 国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設等の事業を受託したことにより、
営業収益は157億円（前年同期比83.3%増）
営業費用は155億円（前年同期比80.4%増）
- ◆ この結果、営業利益は1億円（前年同期は営業損失34百万円）となりました。

その他の事業

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営等を展開したことにより、
営業収益は59億円（前年同期比38.7%増）
営業費用は54億円（前年同期比40.4%増）
- ◆ この結果、営業利益は5億円（前年同期比23.5%増）となりました。

高速道路事業

主な増減内容

単位: 億円(単位未満切捨て)

区 分		27年3月期	26年3月期	増減
営業収益	料金収入等	1,712	1,739	▲ 27
	道路資産完成高	280	1,427	(注) ▲ 1,147
		1,992	3,167	▲ 1,174
営業費用	道路資産賃借料	1,318	1,316	+2
	道路資産完成原価	273	1,460	▲ 1,186
	管理費用	388	409	▲ 21
		1,979	3,185	▲ 1,205
高速道路事業 営業利益		12	▲ 18	+30

- 営業収益
 - ・通行台数は、一日当たり約73万台(前年同期比0.9%減)
 - ・料金収入は、通行台数減少の影響等により1,706億円(前年同期比27億円減)
 - ・道路資産完成高は、4号湾岸線(三宝入口)、松原JCTの新規供用等により280億円(前年同期比1,147億円減)

- 営業費用
 - ・協定に基づく道路資産賃借料は、1,318億円(前年同期比2億円増)
 - ・管理費用は、業務効率化による費用の減、供用に伴う広報費用の減等により、388億円(前年同期比21億円減)

(注) 道路資産完成高の大幅な減少は、前期に阪神高速2号淀川左岸線(島屋～海老江JCT)の開通等に伴う道路資産完成高を計上したことによるものです。

関連事業

主な増減内容

単位：億円〔単位未満切捨て〕

区 分		27年3月期	26年3月期	増減
受託事業	営業収益	157	85	+ 71
	営業費用	155	86	+ 69
	営業利益	1	▲ 0	+ 2
その他の事業	営業収益	59	42	+ 16
	営業費用	54	38	+ 15
	営業利益	5	4	+ 0
関連事業 営業利益		6	3	+ 3

●受託事業
 大阪府道高速大和川線に係る工事等により、
 営業収益は157億円
 （前年同期比71億円の増）、
 営業費用は155億円
 （前年同期比69億円の増）となり、
 営業利益は1億円
 （前年同期は営業損失34百万円）

●その他の事業
 営業収益は59億円
 （前年同期比16億円の増）、
 営業費用は54億円
 （前年同期比15億円の増）となり、
 営業利益は5億円
 （前年同期比97百万円の増）

（注）関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、発生土再生活用事業等を含んでおります。

当期連結財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

連結貸借対照表			
区分	27年3月期	26年3月期	増減
総資産	2,417	2,228	+189
流動資産	1,979	1,765	+213
(うち仕掛道路資産)	1,276	1,209	+66
固定資産	438	463	▲ 24
総負債	2,050	1,892	+158
流動負債	471	545	▲ 73
固定負債	1,578	1,346	+231
純資産	367	336	+30
株主資本	395	378	+17
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	195	178	+17
その他の包括利益累計額	▲ 31	▲ 41	+10

連結損益計算書			
区分	27年3月期	26年3月期	増減
営業収益	2,208	3,293	▲ 1,085
営業費用	2,188	3,307	▲ 1,119
営業利益	19	▲ 14	+34
営業外収益	6	5	+0
営業外費用	0	0	+0
経常利益	25	▲ 9	+35
特別利益	4	0	+3
特別損失	1	0	+0
税引前当期純利益	28	▲ 9	+38
法人税等	2	9	▲ 7
当期純利益	25	▲ 19	+44

平成28年3月期 連結業績の見通し

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区 分		28年3月期 見通し	27年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	2,472	1,992	+480
	料金収入等	1,735	1,712	+23
	道路資産完成高	737	280	+456
	関連事業	128	216	▲ 87
		2,601	2,208	+393
営業 費用	高速道路事業	2,466	1,979	+486
	道路資産賃借料	1,294	1,318	▲ 23
	道路資産完成原価	737	273	+463
	管理費用	434	388	+46
関連事業	122	209	▲ 87	
		2,588	2,188	+399
営業利益		12	19	▲ 6
	高速道路事業	6	12	▲ 6
	関連事業	6	6	▲ 0
経常利益		10	25	▲ 15
当期純利益		6	25	▲ 18

連結業績の見通し

当期純利益は、親会社の利益2億円に連結子会社7社の利益等4億円を加えた6億円となる見通しです。

なお、連結業績の見通しのうち、親会社の見通し額は国土交通大臣から認可を受けた平成27年度事業計画に基づいています。

(注) 平成28年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

平成28年3月期 個別業績の見通し

単位：億円(単位未満切捨て)

区 分		28年3月期 見通し	27年3月期 実績	増減
営業 収 益	高速道路事業	2,470	1,986	+483
	料金収入等	1,733	1,706	+26
	道路資産完成高	737	280	+456
	関連事業	93	175	▲ 82
		2,563	2,162	+401
営業 費 用	高速道路事業	2,467	1,981	+485
	道路資産賃借料	1,294	1,318	▲ 23
	道路資産完成原価	737	273	+463
	管理費用	435	390	+45
	関連事業	90	170	▲ 80
		2,557	2,152	+405
営業 利 益	高速道路事業	2	5	▲ 2
	関連事業	3	4	▲ 1
		6	9	▲ 3
経 常 利 益		3	13	▲ 9
当 期 純 利 益		2	13	▲ 11

個別業績の見通し

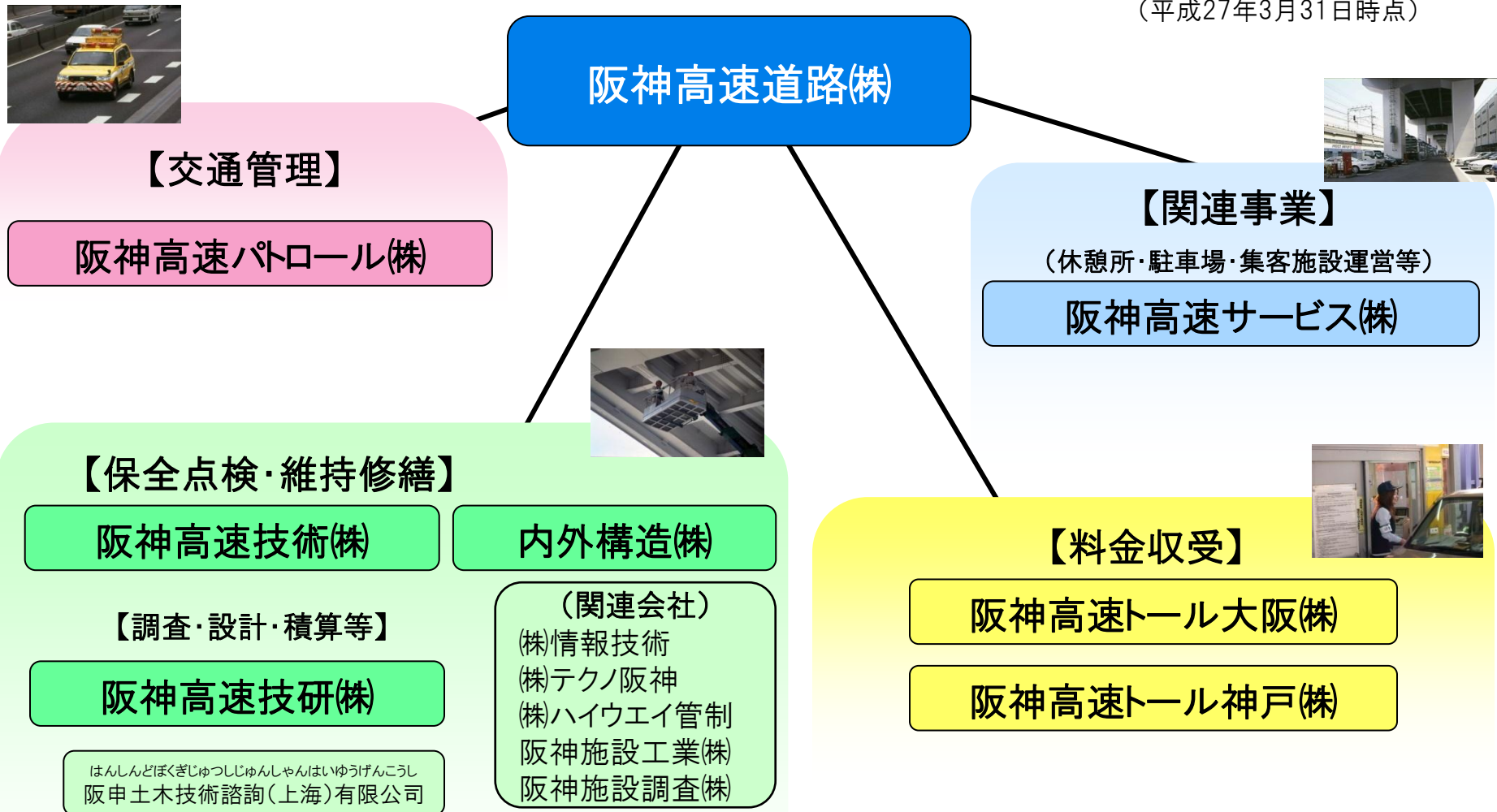
営業収益は、
 2,563億円(前年実績比401億円増)
 営業利益は、
 6億円(前年実績比3億円減)
 当期純利益は、
 2億円(前年実績比11億円減)
 となる見通しです。

なお、見通し額は国土交通大臣から
 認可を受けた平成27年度事業計画に
 基づいています。

(注) 平成28年3月期の業績見通しには、
 不確定な要因を含んでおり、将来の
 業績等を保証するものではありません。
 実際の業績等については、様々な要
 因により変化するものであることをご承
 知おき下さい。

グループ経営体制

(平成27年3月31日時点)



(注1) 内外構造(株)は、平成26年4月に連結子会社化しております。

(注2) 阪神高速サービス(株)は、平成26年12月に(株)高速道路開発と合併しております。

主なトピックス

1. ミッシングリンク解消に向けたネットワーク整備等

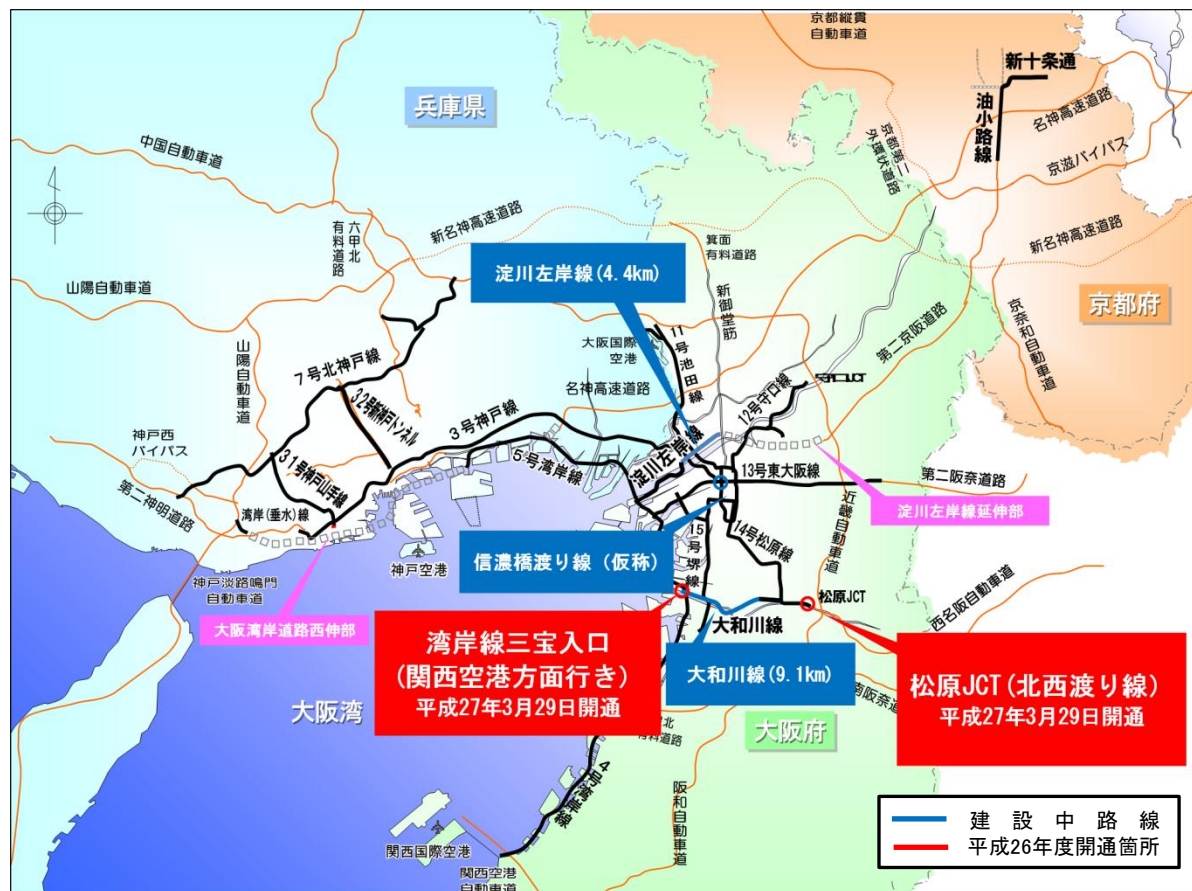
- * 松原ジャンクション(北西渡り線)及び4号湾岸線三宝入口(関西空港方面)が平成27年3月29日同時開通しました。引き続き、大和川線(三宝～三宅西:9.1km)及び信濃橋渡り線(仮称)をはじめ建設事業を推進していきます。
- * 淀川左岸線延伸部及び大阪湾岸道路西伸部に関する調査について、新たに平成27年度より実施します。



松原ジャンクション



湾岸線三宝入口



主なトピックス

2. 大規模更新・修繕等による長寿命化の推進

* 平成26年度、阪神高速道路開通50年目の節目を迎え、「安全・安心・快適」の更なる追求のため、繰り返し補修を実施しても構造物の健全性を引き上げることができず、致命的な損傷に進展し通行止めとなるおそれのある箇所について更新計画を検討して参りました。道路整備特別措置法の規定に基づき、大規模更新・修繕事業を含む高速道路事業の一部変更を国土交通大臣に申請し平成27年3月25日付けで許可を受けました。国や関係自治体などの関係機関と連携しつつ、お客さまや地域の皆さまのご理解を頂きながら、老朽化した阪神高速の大規模更新・修繕を進めてまいります。

区分	路線	対象箇所	延長	開通年	事業費(税込)	事業年度
大規模更新	橋梁全体の架替	3号神戸線 京橋付近	0.3km	S41	249億円	H33~40
		14号松原線 喜連瓜破付近	0.2km	S55	238億円	H32~38
	橋梁の基礎取替	15号堺線 湊町付近	(9基)	S47	191億円	H27~36
	橋梁の桁・床版取替	3号神戸線 湊川付近	0.4km	S43	162億円	H28~32
		11号池田線 大豊橋付近	0.3km	S42	126億円	H37~41
		13号東大阪線 法円坂付近	0.2km	S53	56億円	H39~41
	橋梁の床版取替	1号環状線 湊町~本町	0.6km	S39	488億円	H27~41
		11号池田線 福島~塚本	0.3km	S42		
		12号守口線 南森町~長柄	0.5km	S43		
		15号堺線 芦原~住之江	1.7km	S45		
小計			5km	-	1,509億円	-
大規模修繕	4号湾岸線、11号池田線ほか		57km	-	2,176億円	H27~41
合計			62km	-	3,685億円	-

大規模更新・修繕事業



3. 関連事業の展開

- * 阪神高速グループにおいてこれまで培ってきた技術・ノウハウを活用し、周辺の自動車専用道路等の一体的管理受託を実施しました。
- * 高架下等の道路空間や保有する資産を有効に活用し、社会のニーズに応えるため、海外事業を含む土木・建築コンサルティング事業、駐車場事業、保有資産有効活用事業等を積極的に展開しました。

○周辺自動車専用道路等の一体的管理受託

- ・大阪港咲洲トンネル(大阪市港湾局:平成21年度より)
- ・新たに平成27年度以降の指定管理者に指定され、以降5年間の維持管理を受託
- ・夢咲トンネル(国有港湾施設管理者大阪市港湾局:平成21年度より)
- ・第二阪奈有料道路(大阪府・奈良県両道路公社)
大阪府側は、平成25年度より維持管理、平成26年度より交通管理・交通管制も併せて受託。
奈良県側は、平成24年度より維持管理を受託



第二阪奈有料道路

○構造物点検等の技術・ノウハウを活用したグループ会社

による社会への貢献(阪神高速技術(株)にて受注)

- ・神戸市:港湾幹線道路(ハーバーハイウェイ)の橋梁定期点検を神戸市みなと総局より受注 外2件

○道路空間や保有する資産の有効活用

- ・駐車場事業:238箇所事業を実施
- ・保有資産有効活用事業:旧社宅用地等を活用し、賃貸住宅事業等を展開。
新たに、甲子園駐車場を転用し、賃貸住宅事業を展開する予定。
(阪神高速サービス(株)にて実施予定)

○道路建設・維持管理に係る設計・施工監理等コンサルティング


- ・ケニア国「道路維持管理業務の外部委託化に関する監理能力強化プロジェクト(フェーズ2)」に関わるコンサルタント業務(平成26年4月～平成27年11月、国際協力機構(JICA))(建技インターナショナルとのJV(共同企業体)として)
- ・カンボジア国「道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト」に関わるコンサルタント業務の新たな受注(平成27年4月～平成30年3月、国際協力機構(JICA))(建技インターナショナルとのJV(共同企業体)として)



JICA業務

◆本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

【お問い合わせ】

 阪神高速道路株式会社 経理部財務課

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号

TEL: 06-6252-8121(代)

FAX: 06-6251-6930

URL: <http://www.hanshin-exp.co.jp>